

山陽小野田市のみなさん、今回の選挙で初代市長に選出された白井博文です。市長就任にあたり、広報の紙面を借りて、市政をすすめる上での私の想い、考えをみなさんにお伝えします。

私は以前、裁判官の任に就いていました。しかし、その職業柄、一つところに定住することができず、長い間、全国各地を転々としながら、遠く、ふるさとへの想いを抱いていたのです。やがて、定年を迎え、自分の骨を埋める場所はやはりふるさとしかない、ふるさとの土になろうと、47年ぶりに小野田の地に戻ってまいりましたが、今回、山陽小野田市の行政をあずかる立場となったのは、正直なところ、自分の想像していなかった「思わぬ事態」と言えなくもありません。

さて、私の目指すまちづくりについてお話しします。

私は、多様な考えや対立する意見を尊重し、それがまちづくりに寄与する前向きなものであれば、真剣に取り上げ、みなさんの納得のいく方向に一本化し、それを市政に反映させていくつもりです。それは、市長が強力なリーダーシップを発揮する従来型のものではありませんが、市民中心のまちづくりをすすめるにはこの手法こそが最良のものだと確信しています。

市民のみなさんのだれもが、胸の内にエネルギーを秘めているはずで、それを新市のまちづくりの原動力にすれば、当面するさまざまな困難も必ず乗り越えていくことができます、そう信じているのです。みなさんの声が行政に反映され、市民による手づくりのまちができていく、そのように市が変わっていく過程を実感していただければ、それがまた更に大きなエネルギーを生むことでしょう。私の役目は、そのエネルギーを引き出し、発揮できるような環境をつくりだすことだと考えています。

市民のみなさん、知恵を貸してください。力を貸してください。

私と二人三脚で新しいまち、新しい山陽小野田市のまちづくりをともにがんばっていきましょう。



平成二十五年
白井博文